



6月、実験のため刈り取り作業中。



2010年5月に設置したシカ柵内(左)と外(右)の比較。2014年9月撮影



主催：山梨市・山梨県・乙女高原ファンクラブ 後援：山梨市教育委員会

# 第14回 乙女高原フォーラム



同じ9月のススキですが・・・



6月にススキだけ刈った実験区(10m四方)の9月の様子。ススキといっしょに写っているのがゲストの高槻さん。

こちらは春から一度も草刈りをしなかった実験区の9月の様子。ススキがこんなに高くなっている。

【テーマ】  
**乙女高原のシカ問題を調べて  
わかったこと**

乙女高原ではかつての「花咲き乱れる」という草原がススキ群落になってきました。これはどうもシカのせいらしいといわれていますが、よくはわかりません。シカがいるのは確かですが、群落をそんなに変化させるほどの影響があるのかどうか・・・そこで乙女高原ファンクラブが作った柵の調査や、草原の刈り取り調査などをすることで、このことを検証しています。柵の中ではたくさんの花が咲くようになり、蜜を求めて昆虫も訪問するようになりました。こうした調査でどういうことがわかったかを報告して、これからどうするのがよいのだろうかを考えるきっかけにしたいと思います。

**2015年2月1日(日)**  
午後1時～3時30分  
夢わーく山梨(地図裏面)  
参加費 無料

今回のスペシャルゲスト  
**高槻 成紀さん**  
麻布大学獣医学部教授。シカと植物の関係を研究し、2012年からは学生とともに乙女高原でも調査をしている。著書に『シカの生態誌』(東京大学出版会)、『野生動物と共存できるか』『野生動物を守りたい君へ』(いずれも岩波ジュニア新書)などがある。



【ようこそ乙女高原へ展X会場】  
**山梨市民会館(ロビー)**  
 山梨市万力 1830  
 国道 140 号線東。万力公園北。  
 JR 山梨市駅より徒歩 8 分  
 ※2015 年 1 月 12 日～フォーラム当日



【フォーラム会場】  
**夢わーく山梨(3F 大集会室)**  
 山梨市上神内川 1348  
 TEL 0553-22-3111  
 万力大橋の東。  
 JR 山梨市駅より徒歩 6 分  
 ※2015 年 2 月 1 日 午後 1 時から



乙女高原の草原は、人の手によって保たれてきた自然です。終戦までは地元集落の草刈り場として、戦後はスキー場(※)として管理するために「草刈り」が続けられてきました。放っておけば森になってしまうところを、人が手を加えることによって草原の状態を保ち、結果的に豊かな生物多様性を保ってきました。

乙女高原ファンクラブは、この「人と自然のいい関係」を将来に渡って守っていきと設立されました。

どなたでも会員になれます。入会は無料。年会費もありません。多くの方々からのご寄付や助成金等によって運営されています。

2014年 10 月現在、入会者は660人。あなたも乙女高原の自然を次の世代に譲り渡す活動の輪に入りませんか？

※なんと、山梨県で初めての「スキー大会が開催できるスキー場」として1951年にオープンしています。



草刈りボランティア恒例の全員記念写真  
 2013 年 11 月 23 日



乙女高原の自然を、みんなで守ろう！

## 乙女高原ファンクラブ

【乙女高原ファンクラブ事務局】植原 彰(方)

〒404-0013 山梨市牧丘町窪平 1110-3

TEL/FAX 0553-35-3682

Email otomefc@fruits.jp

URL <http://fruits.jp/~otomefc/>

郵便振替 00220-8-71093 乙女高原ファンクラブ